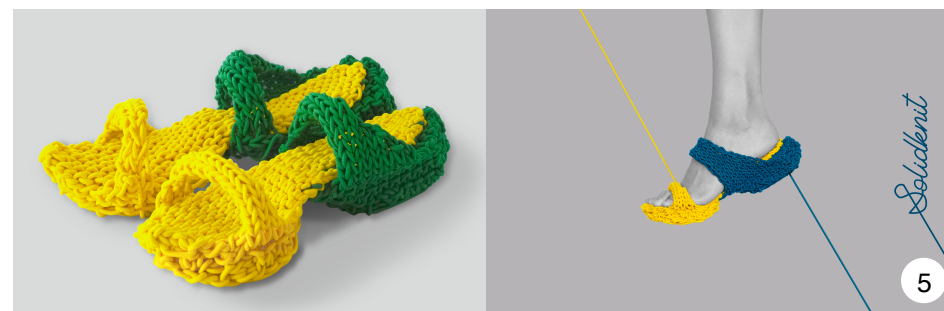
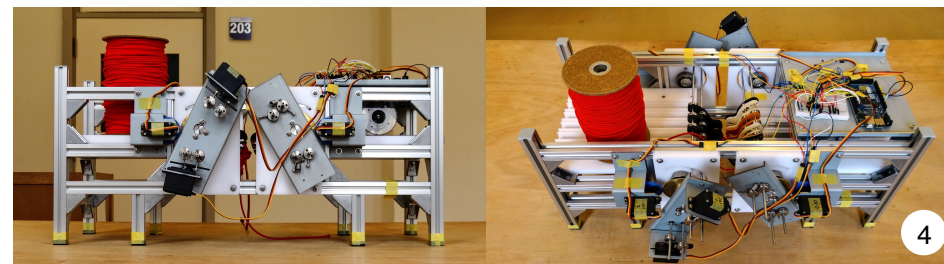
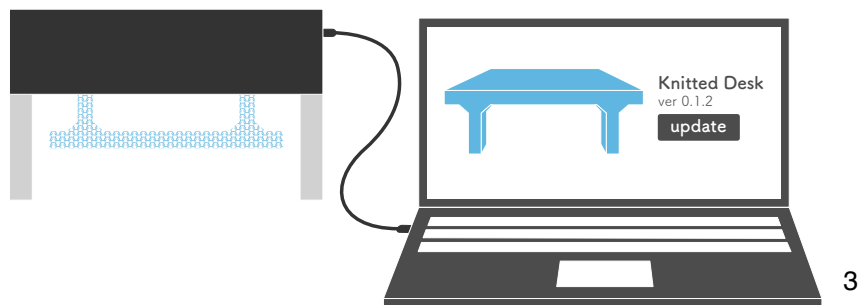
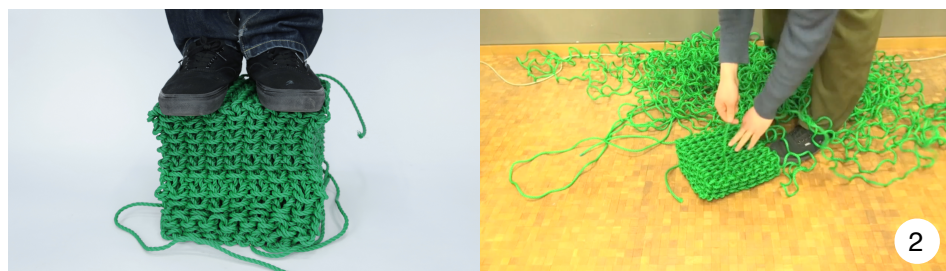


編み物方式3Dプリンタの開発を通じたものづくりの離散化

ー もののアップデートを可能にする機械 ー

廣瀬 悠一



ソリッド編みは筆者が考案した、中身の詰まった立体形状を編む手法である(1)。編み物はほどいて1本の糸に戻すことができる(2)ため、ソリッド編みによって「椅子をほどいて机に編みなおす」といった「もののアップデート」が可能となる(3)。未踏アドバンスト期間中はこの手法を自動化する機械の開発(4)とPCT国際特許出願、また松田優デザイン事務所と共同でソリッド編みの応用プロダクトの考案と実制作(5)を行った。